

長野県木曽町・北海道福島町 生徒交流事業

7月30日（火）から8月2日（金）までの4日間、友好町である「長野県木曽町」との中学生交流事業が行われました。

福島中学校の生徒8名と引率2名で福島町を出発し、木古内駅から朝一番の新幹線で大宮・長野を経由し、木曽町を目指しました。

途中、盛岡駅で接続する秋田新幹線がクマと衝突し、大宮駅での乗り換え時間が4分しかなく、また、受け取った弁当が不足するというアクシデントもありましたが、予定どおり午後1時30分には木曽福島駅に到着することができました。



江戸時代、江戸と京都を結ぶ街道である中山道。この中山道のほぼ中間に位置する「福島関所」などをガイド付きで見学した後、木曽文化交流センターで歓迎式が開催されました。昨年、木曽町から北海道にきた生徒2名もあり、再会を喜び合っていました。

2日目は、開田高原で長野県の天然記念物に指定されている「木曽馬」の乗馬体験、そして、御岳山の7合目までロープウェイで登り、標高2kmを超える展望カフェで食べたカレーは格別でした。

また、御岳山4合目の「不易の滝」では、本州の暑い気候の中で森林浴とマイナスイオンを浴びながら、迫力ある水流と涼を満喫しました。

五平餅づくり体験やスポーツジムでのボルダリング体験、夜のバーベキュー懇親会を行う中で、笑顔や歓声もたくさん多くなってきました。

3日目は、国宝の「松本城」や「旧開智学校」など、素晴らしい歴史文化に触れることができました。特に日本最古の五重天守閣を有する松本城は、毎年10月頃に黒漆を塗り、美しさが保たれている事などを学習しました。

最終日のお別れ会では、別れを惜しむかのように、何枚も記念写真を撮影していました。気候、歴史、文化が異なる木曽町で様々な貴重な体験や学習を通じて友情と友好町の絆が育まれました。心からのおもてなしを頂いた木曽町の皆様に感謝しております。

